



フットパス・旧島松  
駅通所周遊コース

フットパスという言葉を目にしたことがありませんか。森林や田園地帯、古い街並みなどを楽しみながら歩く道のことです。まちを好きになる市民大学OB会「発見の小径グループ」は、地図などを作り、市内のフットパスを広める活動をしています。

旧島松駅通所を起点とする約8kmのコースもその一つ。島松川と仁井別川に沿って歩きます。島松軟石を使った建造物や神社など歴史を感じさせる見どころが点在。平成19年に130年の歴史を閉じた極應寺は、建物こそなくなりましたが、敷地跡に石碑と小さなほこらの中に延命地蔵という、なんと



仁井別川の流れ



旧極應寺跡地の碑

「旧島松駅通所だけでなく周辺にも興味深い場所があることを知ってほしいですね。歩道のない箇所がありますので、歩く時は車に十分気を付けて、楽しんでもらいたいです」と市民大学OB会の岡村さん。さまざまな発見がありそうです。

今年4日にもイベントが実施されます。午前9時までに旧島松駅通所に集まれば、誰でも参加できます。

昨年9月、久蔵祭の開催に合わせて歩くイベントを実施したところ、市内外から30人もの参加がありました。川のせせらぎを聞きながら野鳥や草花を眺め、史跡を巡り、大変好評だったそうです。

もありがたい名前前の地蔵があります。ふと見ると敷地の隅に、ブランコの枠組みと鉄棒の跡が。遠い昔子どもたちが遊んだ日もあったのでしょうか。



## フットパス・ 旧島松駅通所周遊コース



## まめ記者

自然や動物に囲まれていて、元気な学校です



西の里小学校6年  
大沼野々香さん  
(児童会書記)

私たちの西の里小学校は、約500人の児童が、毎日楽しく学校生活を送っています。児童会は書記局を中心に、7つの委員会があり、学校やみんなのために活動や企画をしています。西の里小学校の良いところは、緑に囲まれている、自然が豊かなところです。グラウンドの奥には「里小の森」と呼ばれる森があります。森の中を探検すると、たくさん植物や虫と触れ合えます。また、校舎の前には動物園があり、ウサギとガチョウを飼っていて、飼育委員が中心となって、全員で大切に育てています。

西の里小学校は、地域の方にも大変お世話になっていきます。登下校時に、私たちの安全を見守ってくれたり、スキー学習のときに講師をしてくれたり、こまやお手玉などの昔の遊びを教えてください、読み聞かせをしてくれたりします。

この自然の豊かな学校や学校を支えてくれる皆さんのおかげで、私たちは元気に楽しく学校生活を送ることが出来ます。



地域の方が読み聞かせをしてくれます